

(別紙様式例3)

放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日：令和 5年 2月28日

事業所名： 東予こどもデイ青空

事業所スタッフ及び保護者の皆様の御意見を踏まえ、自己評価の結果を公表します。

(西条市 大町)

評価を踏まえて、事業所の運営における課題点及び改善すべき点を確認し、今後の運営に活かして参ります。

区分	チェック項目	事業所の現状評価			保護者の方の評価			評価を踏まえた 改善内容・改善目標	
		はい	どちらともいえない	いいえ	はい	どちらともいえない	わからない		
環境・ 体制	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保 ①	○			92%	8%		適切である。	・2階部分の使用については課題が多く、見通しがたっていません。
	2 職員の適切な配置 ②		○		100%			適切である。	・安全確保と支援の質向上のため、余裕ある配置に努めます。
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障がいの特性に応じた設備整備 ③	○			92%	8%		適切である。	・今後も利用児の特性に合わせた環境整備・情報伝達方法の改善に努めます。

登備	4	清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保 ④	○		徹底した清掃と除菌に努めている。リラックスできるハンモックは大好評だが、利用児の特性を考慮して、時に撤去している。 利用児個々の活動特性が違うため、しっかりとした生活空間が必要。	92%		8%	適切である。	・引き続き、コロナ禍での感染回避対策の徹底を図って参ります。
業務改善	1	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）への職員の積極的な参画 ⑤	○		毎日のミーティング時に振り返りを行っているが、目標設定がしっかりと行えていない。					・シフト勤務のため全員参画の工夫を凝らして、チーム大町で取り組みます。
	2	第三者による外部評価を活用した業務改善の実施 ⑥		○	第三者評価を受審していない。					・第三者外部評価はハードルが高いですが、今後も外部機関との連携を図り業務改善に取り組めます。
	3	職員の資質の向上を行うための研修機会の確保 ⑦	○		毎月外部講師を招いて、リモートでの社内研修を行っている。					・一部のスタッフは、保育士資格取得に再再チャレンジします。
適切な支援の提供	1	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での放課後等デイサービス計画の作成 ⑧	○		もっと色々なアイデアを出し合って、計画策定に携わっていききたい。	100%			・面談の際、念入りに話し合い、実行して頂いている。	・定期モニタリングに加え、送迎時や電話等での意見交換の機会を捉えてニーズの把握に努めます。
	2	放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載 ⑨	○		利用児の支援に必要な項目の設定や支援内容をスタッフ全員で、もっと勉強しないとイケない。	100%				・引き続き、計画がガイドラインに沿ったものであるか？ 再確認します。
	3	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせた放課後等デイサービス計画の作成 ⑩	○		放デイ計画を作成出来るように、スキルアップを図りたい。					・個別と集団の組み合わせ・バランスを考慮した個別支援目標となっているか、再確認します。
	4	放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施 ⑪	○		より適切な支援を行えるように、事前に児発管からポイントを絞った説明を行いたい。	100%				・定期的に計画の内容をチェックして、ズレが生じていないか、検証・修正していきます。
	5	チーム全体での活動プログラムの立案 ⑫	○		毎日のミーティングで、利用児の特性などを考慮して立案している。					・コロナ禍で制約が多い中ですが、チーム大町で妙案を出し合いたい。

適切な支援の提供 (続き)	6	活動プログラムが固定化しないような工夫の実施 ⑬	○		出来るだけ固定化しないようにはしているが、利用児の希望もあり、活動が固定になる時がある。	100%				・コロナ禍での制約がありますが、利用児のブームや職員の奇抜なアイデアをもとに、個々の支援計画にリンクさせていきたい。
	7	平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援 ⑭	○		課題は設定していますが、もっと細かく設定していきたい。					・利用児の特性や課題を把握の上、利用時間に応じた活動を計画・実施につなげたい。
	8	支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底 ⑮	○		毎日ミーティングを行って話し合い、利用児の特性に合わせたリスク回避対策も確認している。					・これまで同様毎日のミーティングを行い、活動内容、安全感染対策の確認周知の上、チーム大町で支援にあたります。
	9	支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化 ⑯	○		全員揃っての振り返りが難しいので、共有ノートへの記録、全員へのメール報告など、共有に努めています。					・これまで同様一日の振り返りを行い、記録にとどめ、より良い支援方法の検討や利用児の現状把握を行い、支援に活かします。
	#	日々の支援に関する正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施 ⑰	○		シフト勤務のため、より詳細な記録を後日補足するなどして、記録に努め、振り返りを行っている。					・コロナ禍での記録の重要性も増しているため、正確詳細な記録により、変化を見逃さず、支援の改善につなげたい。
	#	定期的なモニタリングの実施及び放課後等デイサービス計画の見直し ⑱	○		定期的実施を継続していますが、利用児の生活環境が悪化しそうな際には、先行実施します。					・現在は定期の開催としているが、利用児の顕著な変化が見られる時は、先手の見直し実施を検討したい。
関係機関との連携	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議への参画 ⑲	○		児発管が主ですが、必要に応じ、担当児童指導員も参加します。					・同左
	2	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施 ⑳			対象児がいません。					

関係機関との連携 (続き)	3	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備 ㉑			対象児がいません。						
	4	放課後等デイサービス事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有 ㉒		○	情報共有は出来るだけ関係機関に求めているが、きちんと連携がとれていない時がある。						・主な内容は相談支援専門員からもたらされるが、学校お迎え時などの会話から、情報共有の深掘りを行いたい。
	5	他の障害福祉サービス事業所等への円滑な移行支援のため、それまでの支援内容等についての十分な情報提供 ㉓		○	情報を求められれば情報提供を行っている。						・主な内容は相談支援専門員が担当が、必要に応じた情報提供と連携を行っていききたい。
	6	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進 ㉔		○	助言や研修を受けるチャンスが欲しい。						・専門機関とは、診断書など文書中心となるが、必要があればこちらから積極的にアドバイスを求めています。
	7	放課後児童クラブや児童館との交流など、障がいのない子どもと活動する機会の提供 ㉕		○	地域の子供達と一緒に公園で、鬼ごっこなど、活発に活動している。	8%		92%	・外出先等で接する機会はある。	・引き続き、公園やお出かけの時、出会った地域の子供達とのスムーズな交流を心掛けていきます。	
	8	事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営 ㉖		○	自治会に加入しているため、時に様子を見に来てくださる方はいますが、地域住民を招待するのは難しいと思う。					・引き続き地域に住む方々とのコミュニケーションを取る様、心掛けていきます。	
保護者へ	1	運営規程、支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明 ㉗		○	もっとまともな説明ができるように努力したい。	100%			・なされている。	・利用契約締結時には説明資料を用いて、丁寧な説明を心掛けています。	

の 説 明 責 任 ・ 連 携 支 援	2	放課後等デイサービス計画を示しながらの 支援内容の丁寧な説明 ㉘	○		もっとまともな説明ができるよう に努力したい。	100 %				・ なされている。	・ コロナ禍で制約がありますが、充 分な感染対策を講じた上で、丁寧な 説明を心掛けます。
	3	保護者の対応力の向上を図る観点から、保 護者に対するペアレント・トレーニング等 の支援の実施 ㉙	○		まずは気軽にお話ができる関係か ら、共感共有に向かう信頼関係の構 築を目指したい。	64 %	8%	8%	15 %	・ 困り事等、改善・対処方 法を教えてもらえる。	・ 依然力不足のため、お話を拝聴す るスタンスですが、ご家族のおもち ちに寄り添い、視点を変えた提案等 が出来る様、努めたい。
保 護 者 へ の 説 明 責 任 ・ 連 携 支 援	4	子どもの発達の状況や課題について、日頃 から保護者との共通理解の徹底 ㉚	○		利用児の状況を利用時に口頭や写 メールでお伝えし、また保護者のお 考えも得て、共通理解を図ってい きたい。	100 %				・ 送迎の際等に報告しても らっている。	・ これまで以上に、利用児の状況 を保護者様に積極的に発信して、また 感想を伺い、共通理解を深めてい きたい。
	5	保護者からの子育ての悩み等に対する相談 への適切な対応と必要な助言の実施 ㉛	○		助言ができるようになりたい。	100 %				・ 面談の時に教わってい る。	・ 引き続き、保護者様からの相談に 適切に応じられるよう、知識やスキ ルを身に付けたい。
	6	父母の会の活動の支援や、保護者会の開催 による保護者同士の連携支援 ㉜	○		道路向かいにお洒落なカレー屋さ んが出来、テイクアウトも可能なた め、保護者ランチ会が出来れば？ とのアイデアあり。	15 %		23 %	52 %	・ 父母の会がない。 ・ 青空さんを通じて顔見知 りになった保護者の方と学 校等で話す機会もある。 ・ 学校での座談会などがあ るので、必要であれば参加 するので、問題ないです。	・ 引き続きコロナ禍で制約がありま すが、十分な対策を講じた上で、交 流や研修の機会を得ていきたい。
	7	子どもや保護者からの苦情に対する対応体 制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情 があった場合の迅速かつ適切な対応 ㉝	○		気軽にお互い文句を言い合える関 係性が一番と思う。	77 %	8%		15 %	・ されている。	・ 引き続き管理者・責任者を中心 に 対応にあたり、保護者様等からのご 意見を真摯に受け止め、より良い施 設運営を目指します。

き)	6	ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底 ④	○			ヒヤリハット事例をもっと多く作成するようにしたい。						・引き続き、ヒヤリハット事例を記録し、その要因を分析した上で今後の対応策をしっかりと話し合い、日々の支援の中で、再発防止に全力で努めます。	
	満足	1	子どもは通所を楽しみにしているか④					100%				・とても楽しみにしている。	・引き続き、100%を目指します。
	度	2	事業所の支援に満足しているか④					100%				・ありがたく思っている。	・引き続き、100%を目指します。